

セッティング例

●大ホールのような反響音

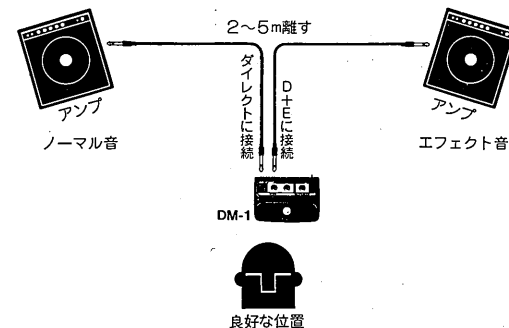


※接続するアンプにリバーブが付いている場合は、リバーブを少しかけるとより効果的です。

●反射音が1回のシングル・ディレイ



●2台のアンプで効果的なディレイ音



注意

- 本体や楽器の近くにネオン・蛍光灯などがある場合、雑音の原因になりますので位置を変えてください。
- 楽器を接続するときは、楽器側のプラグを先に接続し本体側を後で接続してください。
切り離すときは反対に本体側から先に抜きます。
- 温度・湿度の高い所や塵の多い所での使用は、故障の原因になります。
- 本体が汚れたときは、中性洗剤で拭き取ってください。
※シンナー類の使用は避けてください。

BOSS

DM-1 Delay Machine

取扱説明書

BOSS

Products of Roland

- 大阪本社・営業 〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 代表(06) 681-8661
- 東京営業所 〒101 東京都千代田区外神田3-9-7 (03) 251-5595
- 名古屋営業所 〒460 名古屋市中区新栄1-49-18 (052) 241-4332
- ショールーム 〒530 大阪市北区菅根崎上4-10大阪駅前第2ビル2F (06) 346-0551

※規格及び外觀は、改良のため予告なく変更することがあります。

●この説明書をよく読んで正しい接続方法でお使いください。

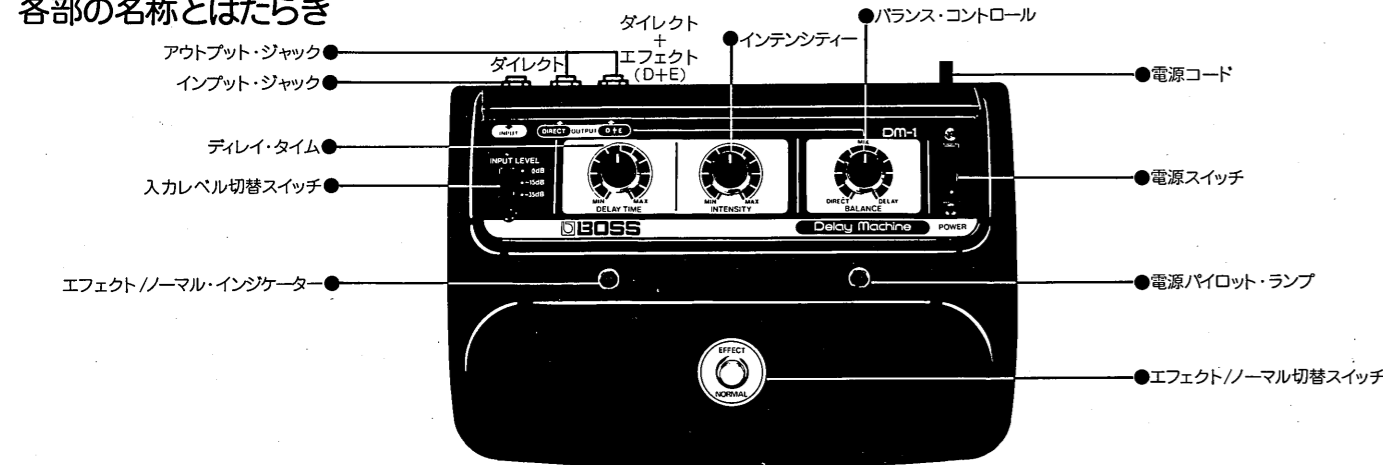
AC
AC電源方式



DM-1は、ディレイ・タイムを25ms~500msまで連続的に可変でき、同時に新開発F.C.F.回路(周波数制御型フィルター)のはたらきによりクォリティーの高い音質が得られます。

さらに、ダイレクト+エフェクト(D+E)とダイレクトのツイン・アウトプット・ジ

各部の名称とはたらき



- **インプット・ジャック (INPUT)**
ギター、シンセサイザー、マイク、ミキサーなどを接続する入力ジャックです。
- **アウトプット・ジャック (OUTPUT)**
アンプ、その他の機器に接続する出力ジャックで、エフェクトとダイレクトの2つがあります。
●ダイレクト+エフェクト(D+E)
アンプが1台の場合に接続します。
※このジャックはエフェクト音とノーマル音がミックスされて出ます。
- **ダイレクト (DIRECT)**
2台のアンプを使用し、音に拡がり、厚みをつくり出します。1台をD+Eに、もう1台をダイレクトに接続します。(接続例を参照)
※このジャックはノーマル音だけ出ます。
- **インプット・レベル (INPUT LEVEL)**
接続するマイク、楽器の出力レベルに応じて3段階(0dB/-15dB/-35dB)に切り替えることができます。マイクは-35dBに、ギター等は-15dBに、その他の電子楽器等は0dBにセットします。
※インプット・レベルを切り替えても、入力と出力のレベルは全く変わらず、ノイズや音質の劣化を防いでいます。(ユテイング!)
- **ディレイ・タイム (DELAY TIME)**
音の遅れ時間を調節するつまみです。25ms~500msの連続可変が可能で、つまみをMIN側(○)にまわすと遅れ時間が短くなり、MAX側(○)にまわすと長くなります。
※新開発F.C.F.回路によりディレイ・タイムをMIN側(遅れ時間を短くする)にするとバンド・ワイスが拡がり、クォリティーの高い音質が得られます。

ャックを装備し、バランス・コントロールにより、2台のアンプを接続して音に拡がり立体感をつくり出せます。また、接続するマイク、楽器のレベルに応じて入力感度を3段階に切り替えることができ、最適な状態で使えます。

- **インテンシティー (INTENSITY)**
ディレイ音の繰り返しを調節するつまみです。つまみをMIN側(○)にまわすと繰り返し数が1回のシングル・ディレイとなり、MAX側(○)にまわすと繰り返し数が多くなります。
- **バランス・コントロール (BALANCE)**
ダイレクト音とディレイ音の音量のバランスを調節するつまみです。ダイレクトではノーマル音だけ、ディレイでは、ディレイ・タイムとインテンシティーで設定されたエフェクト音だけが得られます。中央のミックスでは、ノーマルとエフェクトの音量がほぼ同じになります。
- **電源スイッチ (POWER)**
電源のON/OFFをするスイッチです。
※新開発F.C.F.回路によりディレイ・タイムをMIN側(遅れ時間を短くする)にするとバンド・ワイスが拡がり、クォリティーの高い音質が得られます。
- **エフェクト/ノーマル切替インジケータ**
エフェクトとノーマルを確認します。エフェクト/ノーマル切替スイッチを踏み込んで、点灯しているときはエフェクトを示し、点灯しないときはノーマルを示します。
- **エフェクト/ノーマル切替スイッチ (EFFECT/NORMAL)**
エフェクト/ノーマルのON/OFF切り替スイッチです。
※FET電子スイッチで、クリック・ノイズを追随しスタジオ録音にも威力を發揮します。
- **電源パイロット・ランプ**

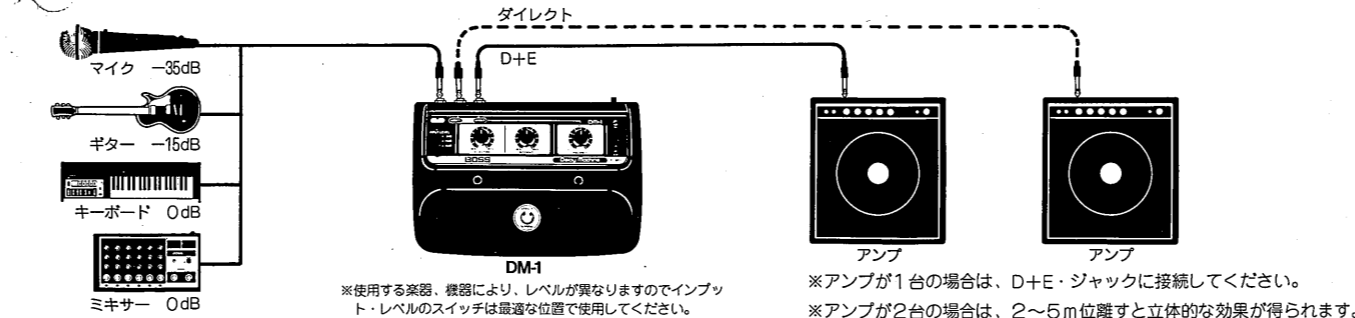
お使いになる前に

- 電源電圧が90V以下または、110Vをこえるところでは、電圧調節器で100Vにしてお使いください。

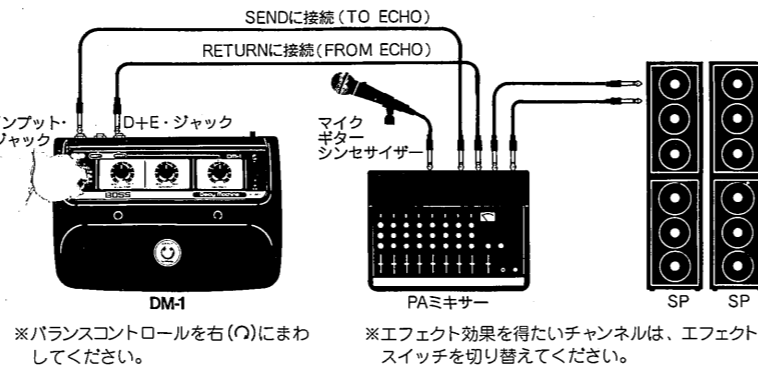
- ほこりの多い所、湿度や温度の高い所でのご使用はさけてください。
- 外国で使われる場合は前もってローランドサービスにご相談ください。

接続のしかた

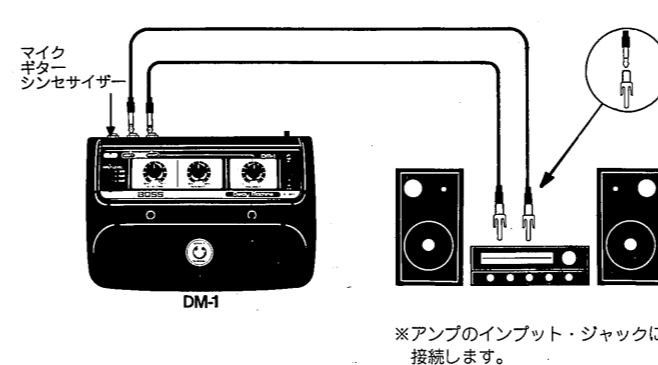
内な接続方法



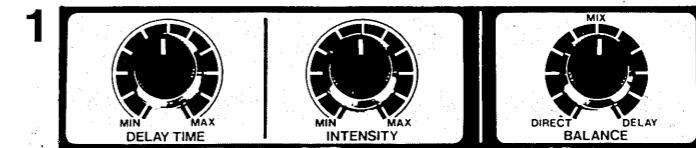
●PAミキサーに接続する場合



●オーディオ・アンプに接続する場合



操作方法

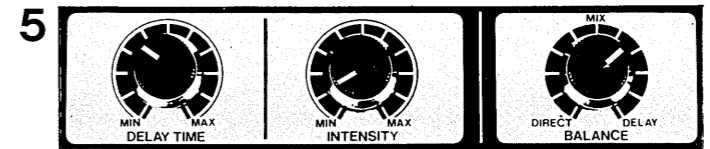


1 各コード類の接続が終わったらパネル面のつまみを図のようにセットします。これで音を出す準備ができました。

2 電源スイッチ(POWER)がOFFになっているのを確かめ、ACコードのプラグをコンセントにさし込みます。電源スイッチをONにすると、パイロット・ランプが点灯します。

3 INPUT LEVEL 0dB -15dB -35dB
インプット・レベル切替スイッチを接続した機器に合わせて適切な位置にセットします。
※インプット・レベルが低い位置(-35dB)で歪む時は機器側のボリュームを上げるか、または高い位置(0dB)に切り替えてください。(セッティング例・基本的な接続方法を参照)

4 EFFECT NORMAL
エフェクト/ノーマル切替スイッチを踏み込み、エフェクトの状態にします。この時、エフェクト/ノーマル・インジケータが点灯します。



5 ディレイ・タイム、インテンシティー、バランスの順に各つまみを適切な位置にセットします。
※インテンシティーのつまみをMAX側にまわしすぎると共振する場合があります。極端にまわしすぎないように注意してください。

主な規格

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	3W
コントロール	ディレイ・タイム(25ms ~500ms) (バンド・ワイス 10kHz~1kHz) インテンシティー、 バランス
スイッチ	電源スイッチ、 入力レベル切替スイッチ (0 / -15 / -35dB) ノーマル/エフェクト切替スイッチ
その他	電源パイロットランプ、 エフェクト/ノーマル切替インジケータ
端子	入力1、出力2
入力インピーダンス	220kΩ
出力負荷インピーダンス	600Ω以上
ゲイン	UNITY 1
S/N比	80dB以上
外形寸法	260(W)×64(H)×180(D)mm
重量	1.8kg